

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	26 / 1982 / 8-16
タイトル	野内川の植物
著者名	和田龍一

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

野内川の植物

3年 和田 裕一

植物班は調査地域内と特定のポイントをつくり、戸邊沢から構八平沢までの地域をゆくり下りながら植物を採集する方法をとりました。このように地域の調査は、植生図に従って方形区を設置し、数量的にやることもできるのですが、調査を始めたころはこのことを全く知らず、このように粗雑な調査になってしまいました。しかし、調査は調査員がみんなのしよと行動するということだったので、ポイント付近の採集も多くなれば生育場所かは、さししてあります。

調査は、正規の部活の資料の他、菊池君の個人の資料もあり、ほぼ野内川全域にわたっています。これらの資料を調査日ごとにとりまとめ、さらに「やぶがへ 23号」の「野内川の植物」とあわせて、過去10年ほどの間で確認した植物をまとめました。

'81 7月29日 (和田)

日ざしの強い 非常に暑い日。沢の水がさかきよくなりました。花の見つけ方でもまだよく知らずか。ところどころ、本当に目につくものしか確認できませんでした。

まだみちのくトニネルゆきのポイント1まであがり、目についたものは エゾニウです。沢の斜面の日当たりのよいところにはえ、高さは2mほどありました。その下にはウツボクサが輪。このあたりには道の両側にエゾアササイがよく見られました。

ポイント3まで下り、ウツボクサの群落を発見。また木道のオトギリソウを採集。

・エゾニウ セリ科 *Angelica ursia*

ポイント1 alt. 200m 斜面 陽地 孤立

・ウツボクサ シソ科 *Prunella vulgaris*

ポイント1 alt. 200m 路傍 半陽地 孤立

ポイント3 alt. 120m 林内 半陽地 集団塊

・オトギリソウ おとギリソウ科 *Hypericum erectum*

ポイント3 alt. 120m 河原 陽地 孤立

'81 9月6日 (和田)

この日はポイント2から採集を始めました。前回確認したエゾニウに代わり、2. ミミウトが調査流域全体にわたって見られました。この目確認したオクトリカブトは、ほとんどミミウトの一部の地域に集中しています。またツリフネソウとツリフネモ他の場所でも見られるもの、この地域に集中しています。また採集したヌスビトハギを標本にしたところ、根には根粒がついていました。

・ゴカネサキ きく科 *Solidago virgaurea* ssp. *leiocarpa*

ポイント2 alt. 200m 沢内 陰地 孤立

- アズビトハギ 赤苺科 *Desmodium racemosum*.
ポイント2 alt. 200m 路傍 陽地.
- ヒメタデ ㊦科 *Polygonum erecto-minus*
ポイント2下 alt. 200m 路傍 陽地
- サエタデ ㊦科 *Polygonum lapathifolium*
ポイント2下 alt. 200m 路傍 陽地
- イヌタデ ㊦科 *Polygonum longisetum*
ポイント2下 alt. 200m 路傍 陽地
- ※上記4種は 路にえ, 2多数見られた。
- ミズヒキ ㊦科 *Polygonum filiforme*
ポイント2下 alt. 200m 路傍 陽地
- オクトリカブト きんぽうげ科 *Aconitum japonicum*.
タムわき alt. 180m 路傍 陽地
- ツリフネソウ つりふねそう科 *Impatiens textori*
タムわき alt. 180m 路傍 陽地
- キツリフネ つりふねそう科 *Impatiens noli-tangere*
タムわき alt. 180m 路傍 陽地
- ウマノミツリバ セリ科 *Sanicula chinensis*
タム岸 alt. 180m 河原 半陽地 孤立
- かこしヨウゴ べんざそう科 *Geranium tripartitum*
タム岸 alt. 180m 河原 半陽地 孤立
- オトギリソウ おとぎりそう科 *Hypericum erectum*.
タム下 alt. 160m 路傍 陽地. 密生塊
- ナナタコウシユ ㊦科 *Elsholtzia ciliata*
タム下 alt. 160m 路傍 陽地. 密生塊

- キンミズヒキ 何らかの科 *Agrimonia pilosa*
 'タム下 alt. 160m 路傍, 半陽地 孤立
- エビアサキ 何らかの科 *Hydrangea serrata* Seringe
 ポイント3 alt. 160m 沢陰地, 孤立 *ssp. yezoensis* Kitam
- トキハニシキ 何らかの科 *Panax japonicus*
 ポイント3 alt. 160m 沢 半陽地, 孤立
- クサキ 何らかの科 *Clerodendron trichotomum*
 ポイント3, 300m下流 alt. 140m 路傍, 陽地, 孤立
- カタバミ 何らかの科 *Oxalis corniculata*
 ポイント4 alt. 140m 沢入口, 半陽地, 密田塊
- タニツバ 何らかの科 *Sium serrata*
 ポイント4 alt. 140m 沢, 半陽地, 孤立

9/81 10月4日 (菊池)

- ムラサキキツ 何らかの科 *Callicarpa japonica*
 折紙山付近 alt. 250m 路傍 陽地 孤立
- サンショウ 何らかの科 *Zanthoxylum piperithum*
 折紙山付近 alt. 250m 路傍 陽地 小群
- サニカクツ 何らかの科 *Vitis flexuosa*
 折紙山付近 alt. 250m 路傍, 陽地
- ミヤマカマス 何らかの科 *Viburnum Wrightii*
 折紙山付近 alt. 250m 路傍, 陽地, 小群

9/81 10月11日 (和田)

この日は、ヤマアゲをとりためてポイントⅡまであがりました。
 ポイントⅡでは、植物の葉の上で直径1.5cmほどの黒いかたまりを
 つけたものを採集し、標本にしたところその中に、スツル小サイズの
 幼虫の卵か何かがありました。どうやら虫の卵塊らしいのですが、は

うきりしたことはわかりませんでした。またポイント4には沢を上へのぼり、狂咲きのオオタチツボスミレを見ました。普通のものに比べると株も花も小さいものでした。今年の春はこの沢をのぼってみたところ、雪がほとんど消えてしまっていたので、雪のためにはよく、遅寝、日照不足が原因のようです。

・ダイコンソウ ばら科 *Geum japonicum*

ダム川 alt. 160m 河原, 半陽地, 孤立

・アカソ いらくさ科 *Boehmeria tricuspta*

ポイント3 alt. 140m 沢, 陰地, 孤立

・トクハニンジン うなぎ科 *Panax japonicus*

ポイント3 alt. 140m 沢, 半陽地, 孤立

・オオタチツボスミレ すみれ科 *Viola kusanoana*

ポイント4 alt. 140m 沢, 半陽地, 孤立

・82 4月25日, 29日 (和田)

25日は今年第一回の調査, 29日内部員紹介のために行きました。

25日は赤沢の奥まで行きました。また雪が多くのことだったので植物は見あたりませんでした。このすぐ下は雪が少なくキクサキイチゲがいくつか見られました。このキクサキイチゲの花の色は7月で見ると上流から下流へ青と白の11色かわりかは、きり見られます。またエゾサクラは、エゾエゾサクラの青・白花, ヤマエゾサクラの青花と3種見つけました。すみれは、青森県には三八地方にのみ生息するといふアケボノスミレを確認しました。

・キクサキイチゲ きんぽうげ科 *Anemone pseudo-altaica*

流域全域 青花と白花の群落が分離している

・アケボノスミレ すみれ科 *Viola rossii*

ダム川下 alt. 160m 路傍, 陽地, 孤立

- ・エソキケマン ハシ科 *Corydalis speciosa*
 タムロ下, alt. 160m 路傍, 陽地, 孤立
- ・ニリンソウ きんぽうげ科 *Anemone flaccida*
 平沢 alt. 180m 路傍, 陽地, 密田塊
- ・カタクリ ゆり科 *Erythronium japonicum*
 ポイント上 alt 160m 斜面, 陽地, 孤立
- ・ウスハサイシン トラノオ科 *Asiasarum sieboldii*
 ポイント上 alt. 140m 草地 半陽地 密田塊
- ・エソエンコサク ハシ科 *Corydalis ambigua*
 流域全域 青花と白花がある
- ・ヤマエンコサク ハシ科 *Corydalis lineariloba*
 流域全域
- ・ナカハシスミレ オミコ科 *Viola rostrata* var. *japonica*
 ポイント下流 200m alt. 140m 路傍, 陽地, 不詳
- ・エンレイソウ
 ポイント上 alt. 140m 平野 陽地, 密田塊
- ・スミレサイシン オミコ科 *Viola vaginata*
 ポイント下流 200m alt. 140m 路傍, 陽地, 孤立.

'82 5月9日 (菊地)

- ・スミレサイシン オミコ科 *Viola vaginata*
 月光の滝 alt. 160m 林内, 半陽地 密田塊
- ・ナカハシスミレ オミコ科 *Viola rostrata*
 月光の滝 alt. 160m 草原 陽地 孤立
- ・エリワサビ あざみ科 *Wasabia tenuis*
 月光の滝 alt. 160m 路傍, 陽地, 孤立

82 5月28日 (菊池)

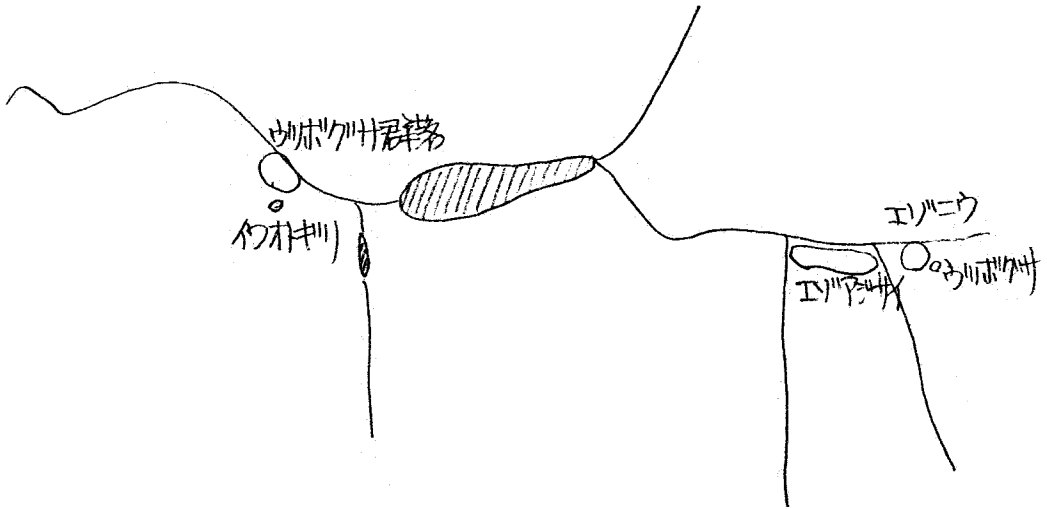
- オオタチツボスミレ ちぢみ科 *Viola kusanoana*
滝沢 alt. 60m 草原 陽地 小群
- マイヅルソウ ゆり科 *Maianthemum dilatatum*
滝沢 alt. 60m 斜面 陽地 密団塊
- キバナイカリソウ ねずみ科 *Epimedium koreanum*
日光の滝 alt. 160m 沢, 陽地 小群
- ヤマオクマキ きんぽうけ科 *Aquilegia buergeriana*
滝沢 alt. 60m 斜面 陽地 孤立
- ヒメスイ ゆり科 *Polygonatum humile*
滝沢 alt. 60m 路傍 陽地 小群
- ノビネツドリ らん科 *Gymnadenia conopsea*
滝沢 alt. 60m 林内, 陰地 孤立

最後に

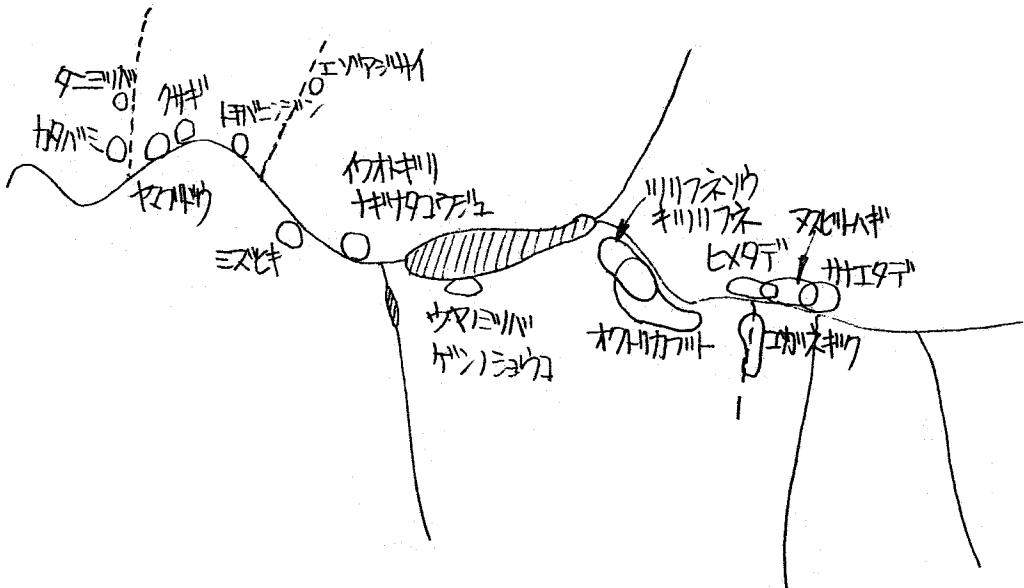
やはりこの23号に発表された「野内川の植物と比較してみると、15種ほど私たちが新たに発見した植物があるのですね、ほとんどこの植物が、おんなりの形がこの時の資料に記載されており、植物の面から見ると野内川は非連続としたところである。しかし今年8月に、E時はオオハニゴシソウが道路を隔ててあちこちに見られ、人の出入りの便を示してあり、またアツモリソウ、クマカイヤソウがこの3年間全く記録されておらず、ちょっと気になるところである。一六、具内の分布から見ると野内川をほぼめぐるしいアケボロスミレも見つかり、強い味きの花の次も見つかっており、ここからの調査がはっきりさせたいところである。

野木川 調査域 ④

'81 7月29日



'81 9月6日



81 10月11日

